

日本老年学的評価研究（JAGES: Japan Gerontological Evaluation Study）の研究成果についてのプレス発表を下記の通り開催いたしますので、お知らせいたします。
（JAGESの概要につきましてはホームページ https://www.jages.net/about_jages/ をご覧ください）

なおJAGESのプレス発表会は「ZOOM」を用いてのオンライン開催となります。
当日の参加方法・URL等に関しましては、ホームページからの参加申込み完了後に詳細をご案内いたしますので、何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

記

1. 開催日時 2023年11月10日（金）10:00～11:30（予定）
※通常と開催時間が異なりますのでご注意ください
2. 場所 「ZOOM」を用いてのオンライン開催
3. 内容

- ① 391-23-23（小島香）
聴覚障害があっても社会活動に参加すると認知症を予防できる
～聴覚の問題がある人では認知症を2倍発症しやすい～
- ② 392-23-24（小島香）
聴こえの程度は社会参加の種類に関係する
～聴こえの程度にかかわらず、参加しやすい活動も明らかに～
- ③ 393-23-25（松倉華代）
3つ以上の子ども期の逆境体験により死別リスク1.3倍、未婚リスク2.2倍、
離婚は女性で3.4倍、男性は2.1倍 ～日本の高齢者を対象にした追跡研究～
- ④ 394-23-26（李嘉琦）
ストレス対応能力が高いと認知症発生リスクが約2割減
～ストレスに対処する能力が高齢者の認知症予防に重要である可能性～
約3万1千人の9年間の追跡調査の結果
- ⑤ 395-23-27（竹内寛貴）
社会参加でフレイル発症リスク2割低い
～フレイルリスクはスポーツ・趣味の会で約20%低く、参加している数が多いほど低い～
- ⑥ 396-23-28（LINGLING）
趣味は一人でするのに比べてグループですると認知症になる確率が19%低い
- ⑦ 397-23-29（田村元樹）
電動カート（グリスロ）は“動く交流の場”！？
～利用者では外出約1.9倍、さらにはこころ、人とのつながりまで2.1～5.2倍～.9倍、
さらにはこころ、人とのつながりまで2.1～5.2倍～

※下記⑧⑨のプレスリリースは通常の研究発表とは異なりますが、今回の発表会にて併せて皆さまにご案内させていただきます。

⑧ 398-23-30 (JAGES)

日本老年学的評価研究(JAGES)機構と WHO 健康開発総合研究センター(WHO 神戸センター)は、神戸市との協力のもと、共同プロジェクトを開始いたしました。

⑨ 399-23-31 (JAGES)

岡山市 SIB 事業「おかやまケンコー大作戦」の第三者評価を実施しました
～3年間で参加者一人当たり約 198,000 円の医療費抑制効果が確認されました～

4. 発表者 (発表順)	代表 近藤 克則	一般社団法人日本老年学的評価研究(JAGES)機構	代表理事
		千葉大学 予防医学センター	教授
		国立長寿医療研究センター	
		老年学・社会科学研究センター	
		老年学・評価研究部	部長
	小島 香	浜松医科大学	特任研究員
	松倉 華代	東京医科歯科大学	大学院生
	李 嘉琦	大阪大学医学系研究科公衆衛生学教室	特任研究員
	竹内 寛貴	千葉大学予防医学センター	特任研究員
	LINGLING	千葉大学予防医学センター	特任研究員
田村 元樹	浜松医科大学健康社会医学講座	博士課程	
藤並 祐馬	日本老年学的評価研究機構	事務局長	

5. 参加申し込み方法

JAGESホームページ(下記URL)の登録フォームからお申し込みをお願いいたします。

【プレス発表会登録フォーム】https://www.jages.net/about_jages/press/participation/

その他、お問合せ等はこちらで承ります <JAGESプレス係> press.ml@jages.net